

天塩町立病院

眼科外来満杯スタート

来月以降も50〜60人待機

【天塩】町立国保病院で19日、初の眼科外来診療が始まった。診療日は月1回ということもあり、初日の予約は満杯。5月以降も50〜60人の患者が待機しているという。

眼科外来は毎月第3木曜日の午後1時半から4時半まで。札幌で開業している加藤祐司医師(44)が来町して診察にあたる。天塩近郊で眼科にか

かるには稚内や留萌まで出向く必要があった。加藤医師は旭川医科大学を卒業し、同大で医局長を経験するなど道北の医療過疎事情を認識しており、自身の病院の休日を利用して引き受けた。

定員10人の完全予約制だが、予約が殺到したため、急ぎよ定員を20人に増やした。「近くに眼科がなかったためか、白内障の患者や、

視力が悪くても我慢している患者が多い」との印象を受けたという加藤医師。「眼科の家庭医として患者をフォローしていきたい」と話した。5月以降の受け入れ人数はこの日の診断結果を精査して決定する。

予約や問い合わせは同病院事務局 ☎01632・21058へ。
(大崎哲也)



初めて開設された眼科で診療にあたる加藤医師